

NEWS!

『お茶の特香園』の深蒸し茶“雪ふか”が アワード 「日本茶AWARD2014」で最高賞を受賞

鹿児島は日本有数のお茶どころ。今年の夏、地元の茶業界へ明るいニュースが届いた。8月23日・24日に初開催された「日本茶AWARD2014」のうまいお茶部門で、老舗『特香園』が出品した深蒸し茶“雪ふか”が最高賞のプラチナ大賞を受賞したのだ。このコンテストは、消費者に支持される魅力的なお茶を発掘し、伝え継ぐことを目的とした品評会。一般的消費者目線で急須を使い審査を行ななど、新しい試みを取り入れている。



写真は「日本茶AWARD 2014」で受賞した“雪ふか 極”(100g 1620円)。現在は店舗で購入できる

最高賞に輝いた“雪ふか”を飲んでみると、焙煎に工夫を凝らしたという茶葉で、いれた一杯は、深い旨みが口に広がり、それでいて香りはさわやか。すっきりした後味で、ほつとする美味しさだ。「鹿児島のお茶は日本一おいしい」と確信しています。今回は消費者目線の審査での受賞ということで、とて



お茶の特香園 本店
鹿児島市呉服町4-21
☎099(224)2679
■10:00~19:00
休なし □なし



もう少しい。会社としても業界としても、励みになります」と同社専務の桑畑さん。今回の受賞をふまえて、12月6・7日には東京で披露会が開催される。消費者による人気投票が行われ、「日本茶大賞」が決定されるのだ。「鹿児島のお茶のおいしさを全国に広めたい」という桑畑さんの思いは、力強い第一歩となるはず。結果は、お茶を飲みながら楽しみに待つといよう。